

シーシーエス株式会社
2014年7月期第3四半期
決算説明



2014年6月11日
JASDAQ コード6669

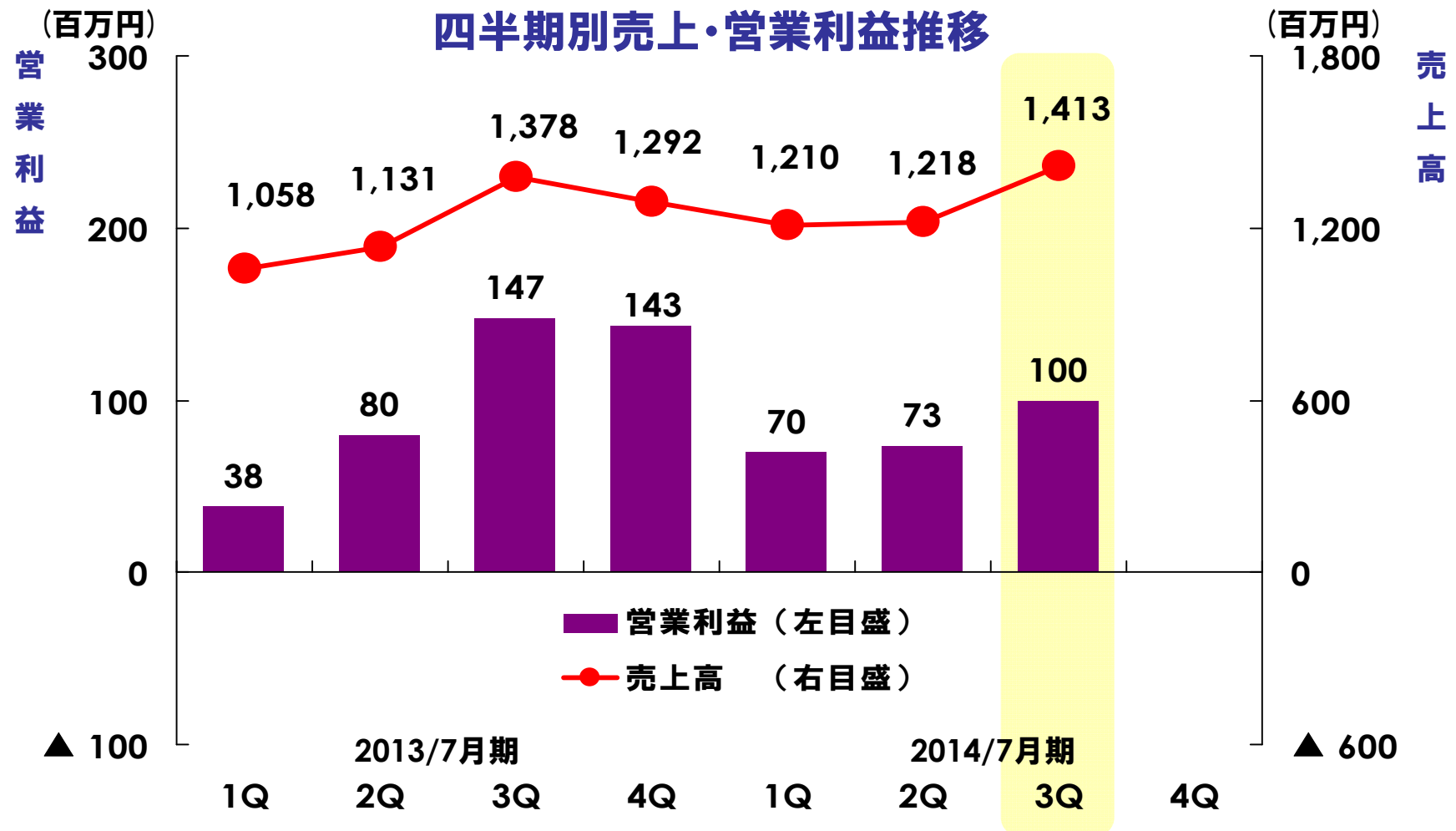
目次

- 1. 2014年7月期 第3四半期 決算概要**
- 2. 2014年7月期 事業分野別の状況**
- 3. 参考資料～会社概要**

1. 2014年7月期 第3四半期 決算概要

決算ハイライト

四半期別推移では売上は順調に拡大するも
営業利益は伸び悩み



決算キーポイント

2013年7月期3Q累計		➡	2014年7月期3Q累計	
売上高	: 3,568百万円		売上高	: 3,842百万円
営業利益	: 265百万円		営業利益	: 244百万円

売上は前年比でプラスに推移しているが
 販売管理費の増加を吸収しきれずに営業利益は前年比でマイナスに。
売上高: 前年同期比+7.7% 営業利益: 前年同期比▲7.8%

➤ **海外売上と新規事業の好調な推移**

	2013年7月期3Q累計	→	2014年7月期3Q累計	前期比
海外売上	1,204百万円		1,385百万円	+15.0%
新規事業	195百万円		362百万円	+84.8%

➤ **一時的な販売管理費の増加**






	2013年7月期3Q累計	→	2014年7月期3Q累計	前期比
販管費	1,854百万円		2,064百万円	+11.3%

<p><主な増加要因></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究開発費 +37百万円 ・支払手数料 +72百万円 ・旅費交通費 +26百万円 	}	<p>新製品開発のための先行投資費用 合併会社立上げ費用で増加</p>
---	---	--

2014年7月期 3Q 連結業績

(単位:百万円)

	2013/7月期 3Q		2014/7月期 3Q		増減	
	累計実績		累計実績		前年同期比	
	金額 [A]	売上比 (%)	金額 [B]	売上比 (%)	[B]-[A]	[B]/[A]-1 (%)
売上高	3,568	100.0	3,842	100.0	+274	+7.7
売上総利益	2,120	59.4	2,309	60.1	+189	+8.9
販管費	1,854	52.0	2,064	53.7	+209	+11.3
営業利益	265	7.4	244	6.4	▲20	▲7.8
経常利益	229	6.4	202	5.3	▲26	▲11.8
当期純利益	165	4.6	163	4.3	▲1	▲1.1

	前年同期比	キーポイント
売上高		海外売上と新規事業の好調により、売上増加
売上総利益		利益率は前期比+ 0.7ポイント
販管費		先行投資費用がかさみ増加
営業利益		利益率は前期比▲1.1ポイント
当期純利益		利益率は前期比▲0.3ポイント

貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

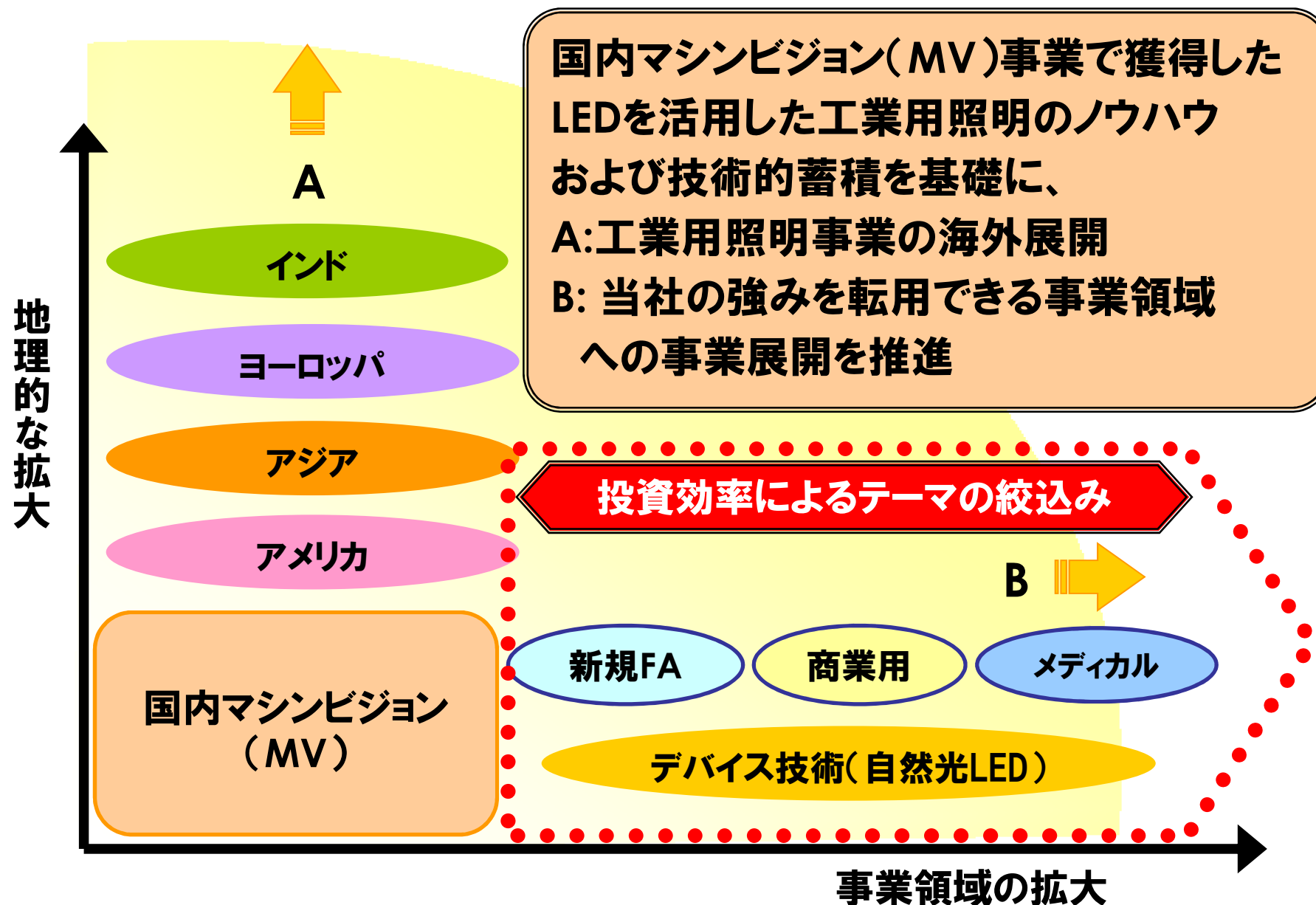
資産	13/7 期末	14/7 3Q	負債・純資産	13/7 期末	14/7 3Q
現金及び預金	2,043	1,768	流動負債	1,913	1,764
受取手形及び売掛金	1,200	1,274	固定負債	1,070	876
たな卸資産	970	922			
その他	137	164			
流動資産合計	4,350	4,129	負債合計	2,983	2,641
有形固定資産	996	1,050	資本金	462	462
無形固定資産	57	57	資本剰余金	1,460	1,460
投資その他の資産	323	306	利益剰余金	845	955
			為替換算調整勘定	▲23	23
固定資産合計	1,377	1,413	純資産合計	2,744	2,901
資産合計	5,728	5,543	負債・純資産合計	5,728	5,543

借入金の返済が進み、現預金および負債が減少しました。

2. 2014年7月期 事業分野別の状況

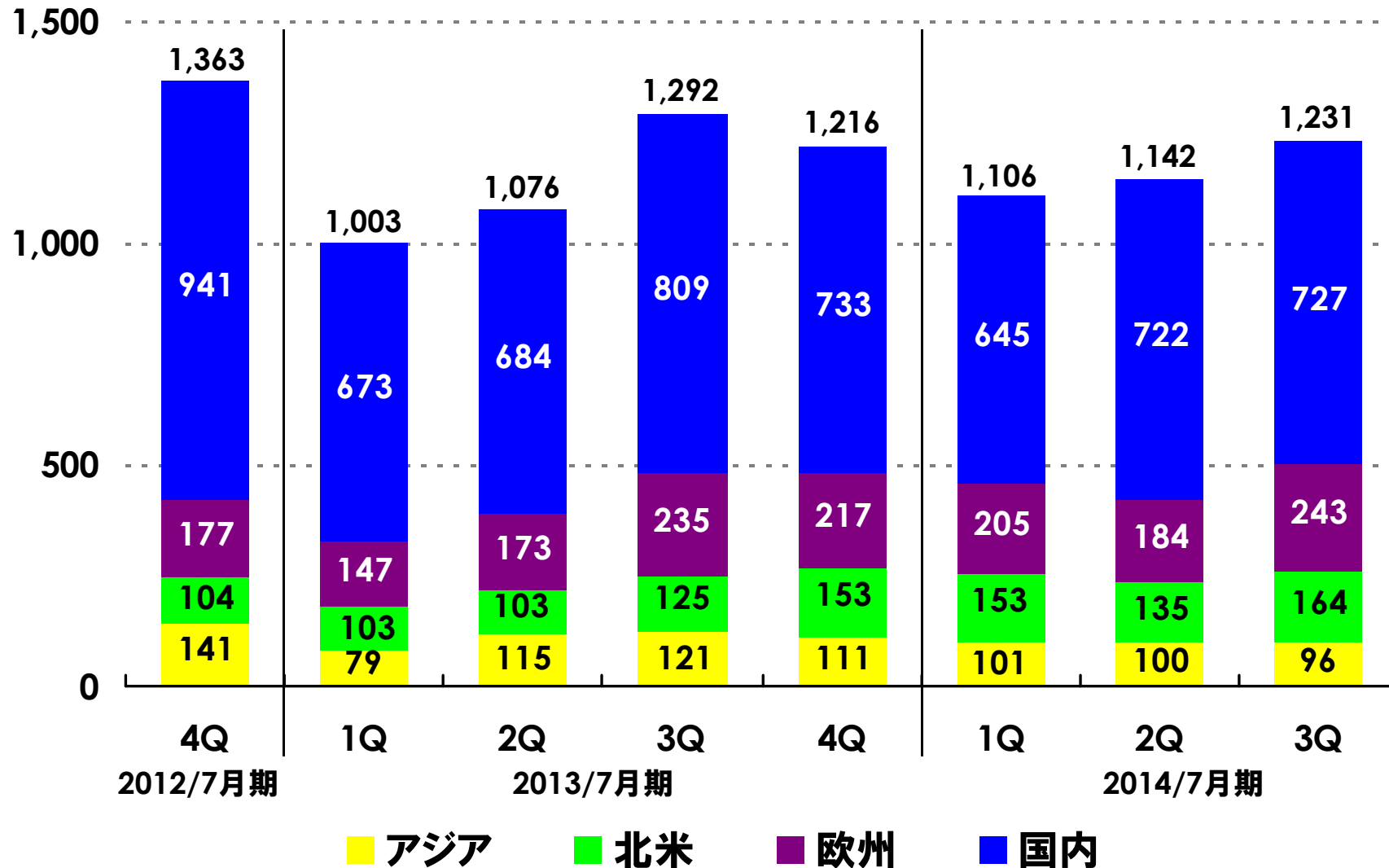
- ①事業推進の考え方
- ②工業用照明事業
- ③新規事業

① 事業推進の考え方



②工業用照明事業 地域別売上高(四半期毎)

(単位:百万円) (2012年7月期～2014年7月期)

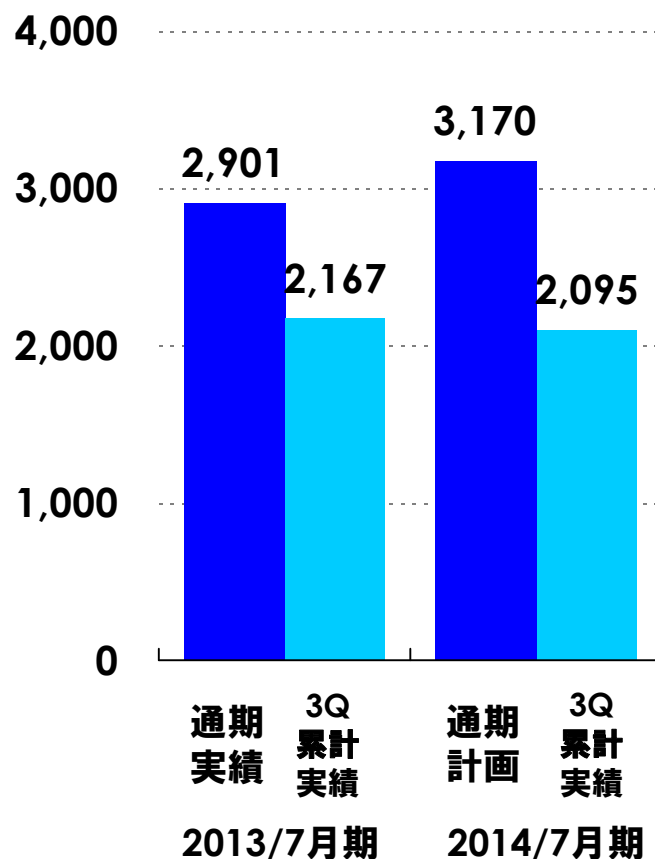


※前期まで工業用照明に分類していた特定顧客向けデバイス事業を、今期より新規事業に移管したため
2012年7月期、2013年7月期の実績数値を調整しています

②工業用照明事業 国内

計画と実績 前期比較（累計）

(単位:百万円)



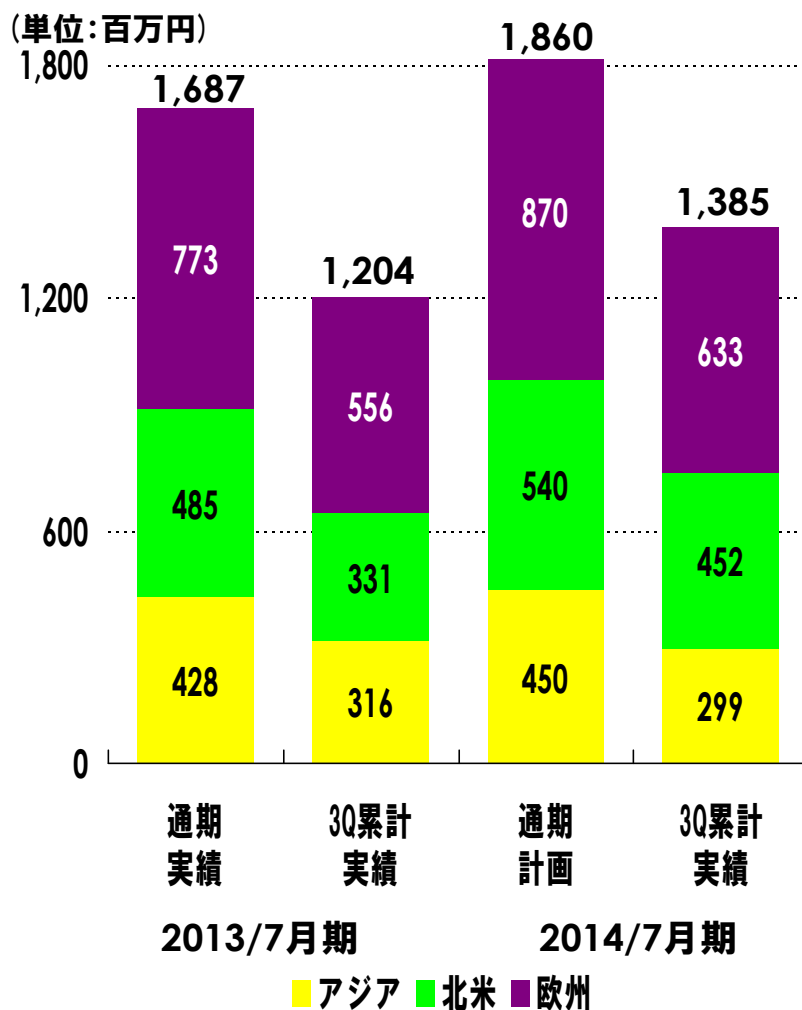
※ 前期まで工業用照明に分類していた特定顧客向けデバイス事業を、今期より新規事業に移管したため、2013年7月期の実績数値を調整しています

第3四半期トピックス

- 市況の見通しは緩やかに回復
電子部品や半導体業界は、設備投資が動き始めており、自動車部品向けも堅調。
市況は活発になりつつある。
- 営業体制の強化
営業体制の細かな見直し、適切な人員配置。
営業課員の行動管理、必達訪問件数の達成。
地域密着の顧客対応を推進中。
- ソリューション拡充による販売力UP
先進的製品開発の加速。
自社製品にこだわらず、様々なアライアンスを進めて、産業用カメラやレンズ、光源ユニットなどを開発、上市している。
- 期末までの国内工業用照明事業
電子半導体、自動車部品、三品(食品・薬品・化粧品)業界向けなど、市況は堅調に推移する見込み。遅れていた開発を着実に進めて、営業管理を徹底し、売上につなげる。

②工業用照明事業 海外

計画と実績 前期比較（累計）



第3四半期トピックス

■欧州：下期に入り回復基調に
 上期は主要顧客である電子部品・半導体業界への売上が減少したが、下期に入り、回復基調。三品業界向けや画像処理装置メーカーへの営業強化が実を結んだ。為替効果もあり売上は増加。

■北米：売上の大幅伸長
 北米全体の好景気と、主要顧客への関係強化および営業強化によって、売上伸長。画像処理装置メーカー、自動車、三品業界向けが好調。テキサステスティングルーム開設により西部およびメキシコ企業への営業を強化、今後ますますの売上増を目指す。

■アジア：営業エリアの拡大
 中国の合併会社の稼働が開始。これまでフォローしていなかったフィリピン、ベトナム地域へも、営業を開始、強化している。

<2013/7月期3Qレート>

1USD=85.99円 1EUR=111.55円 1SGD=69.70円

<2014/7月期3Qレート>

1USD=100.97円 1EUR=137.30円 1SGD=80.10円

②工業用照明事業 海外拠点

海外に営業拠点を開設

台湾 駐在員事務所



2013年10月29日 開設

台湾・新竹地区に開設。
半導体・検査装置等のメーカーや研究機関が多く集まる地区。
台湾にて研究・開発し、中国で生産する半導体装置メーカーや電子部品メーカーが多いため、開発段階からスペックインすることがねらい。



台湾高速鉄道新竹駅より5分

エル・パソ テキサス テスティングルーム



2014年1月23日 開設

テキサスおよびメキシコとの国境地域は、近年、工場地域として発展している地区。
西部・南部・メキシコへの事業展開を強化。
エリア実験室を備え、顧客対応のスピードアップをねらう。



②工業用照明事業 新製品

積極的なアライアンスによる共同開発製品

①スマートライティングコントローラーUSBカメラ (2014年6月発表)



スマートライティングコントローラーUSBカメラ

(株)アートレイとの共同開発

業界初の照明制御機能を内蔵した
アートレイ製USBカメラを共同開発
画像処理に必要な各種LED照明、レンズに加え
カメラも含めたトータルソリューションを提供

②高出力LED光源ユニット PFBR-150SW (2014年3月発売)

レボックス(株)との共同開発

高出力LEDと独自の集光技術
メタルハライド光源相当の明るさを実現
業界最高水準の200万ルクスを達成



PFBR-150SW

②工業用照明事業 施策

断トツトップシェア獲得のため推進している施策

①顧客対応スピードの改善

顧客からの要求に対し、すぐに営業部門トップへ上げる
営業・技術・生産それぞれの部門トップで納期・仕様について協議し
全社を上げて対応に取り組むことを徹底

②シームレスな製品企画に注力

顧客ニーズの進化に追従する現場密着型マーケティングの徹底
製品企画ロードマップの日常的ブラッシュアップ

③製品開発への取り組み

顧客が本当に要求している製品・仕様・価格の追求
重要案件は「社長プロジェクト」とし、明確な納期のもと、徹底して取り組む

②工業用照明事業 中国マシンビジョン市場



合併会社「Rsee」の本格稼働開始

品質重視 : 品質要求の高まりによる検査機器の需要の増加

人件費削減 : 人件費の上昇に対応するため、マシンビジョンによる生産効率の向上

➡ 2014年1月 合併会社「東莞銳視光電科技有限公司」設立

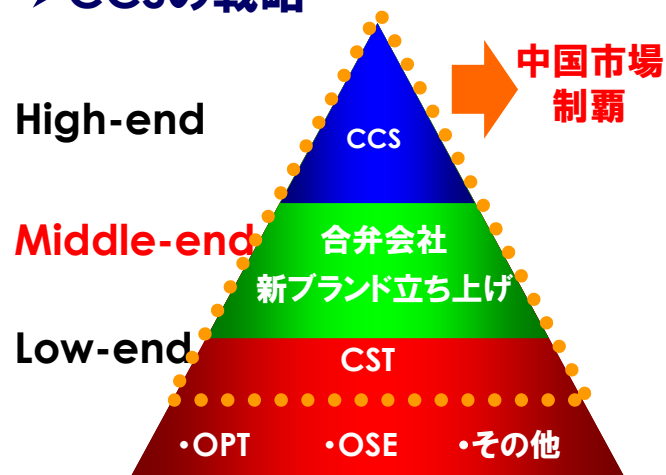
(英語名: Rsee Lighting Technology Co., Ltd)

2014年5月 合併会社「Rsee」の稼働開始

CST社のマシンビジョン事業は「Rsee」へ移管

2014年6月 中国新センの「Automation Expo」にて、「Rsee」製品を出展予定

➤CCSの戦略



東莞市東城区
創意産業パーク内に新工場完成

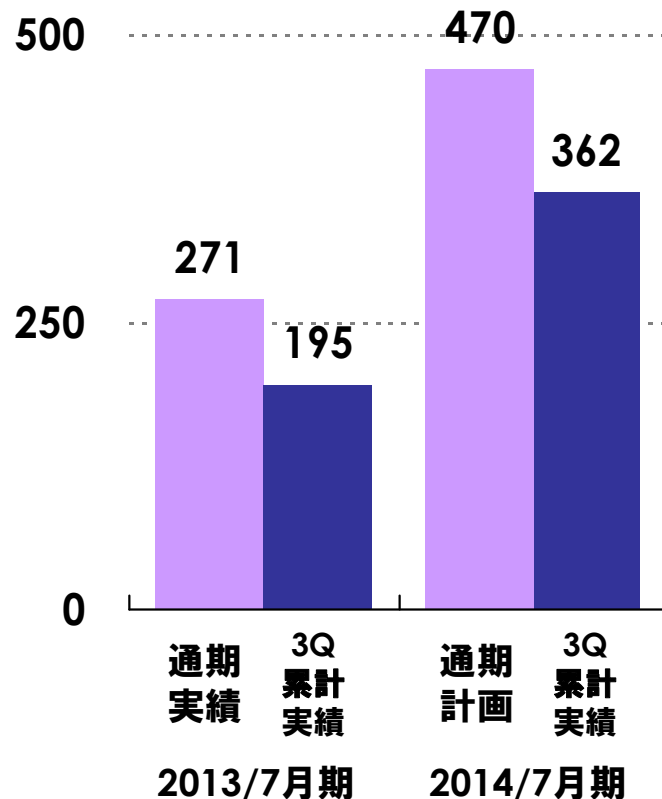


2014年3月 VISION CHINA 2014へ出展

③新規事業

計画と実績 前期比較（累計）

(単位:百万円)



※ 前期まで工業用照明に分類していた特定顧客向けデバイス事業を、今期より新規事業に移管したため、2013年7月期の実績数値を調整しています

第3四半期トピックス

■ アグリバイオ分野は売上伸長
植物工場やグリーンハウスからの大型受注があり、売上伸長。これまでの事業実績、研究成果と、フィリップス社のLED照明の組合せで、顧客への最適なソリューションを提供している。

■ 美術館・博物館分野も順調に拡大
CCSオリジナルの「自然光LED」を搭載したスポットライトは認知が広がり、導入事例は55館以上となっている。
学芸員向けの研修会等にて、光による演色性の違いや文化財保護の観点からの照明の選び方を伝え、認知活動に努めている。

■ デバイス事業は引き合い増加
医療分野照明への応用展開が進展中。

③新規事業 デバイス事業

CCSのデバイス商材：「自然光LED」、「UV-LED」

～ デバイス事業の考え方 ～

- ・開発した自然光LED・UV-LEDを必要とする企業へ、光源として供給していく
- ・トップメーカー、継続的に利益の見込める企業に厳選して供給



・デバイス 実物



CCSデバイス
使用の製品



・歯科重合機



・LED Cool SPOT α



・ネイルジェル硬化用



・黄疸治療器



・顕微用光源

CCSは、独自に開発した自然光LED、UV-LEDをデバイス商材として、事業領域の拡大を目指します

③新規事業 美術館・博物館用照明

MUSEUM COB SPOTLIGHT リニューアル発売

(2014年4月発売)



MUSEUM COB SPOTLIGHT

業界最高水準の演色性を実現 (Ra96以上)
従来品より小型化し、明るさも大幅にUP
一括調光機能も搭載し、照明管理がより簡単に。

■ 導入事例



■ 佐賀県立美術館 2014年3月



■ 出光美術館 2014年3月

■ その他の導入館 (一部)

京都府立堂本印象美術館	2013年9月	當麻寺	2013年4月
島根県立古代出雲歴史博物館	2013年11月	北九州市立美術館	2013年3月
MIHO MUSEUM	2013年8月	都城市立美術館	2012年11月
山口県立美術館	2012年4月	下関市立美術館	2012年7月

③新規事業 アグリバイオ用照明

フィリップス社製 GreenPower LED 植物工場・グリーンハウス(量産規模) 導入開始

■ GreenPower LED について

- 世界各国で1000件以上の導入実績
- 防水規格 IP66
意外に多い植物工場の水トラブル
漏電・生産ライン停止対策に重要
- 多彩な発光色ラインナップ
従来の赤・青色に加え、
 - ① 野菜の緑色が確認できる「作業性」重視の赤白色
 - ② 「成長促進」効果の遠赤色



■ グリーンハウス トマト・パプリカ用 GPLD



・LEDを使用した植物栽培工場(イメージ)

■ 富山市 牛岳温泉植物栽培工場へ
GreenPower LED 2,400本 導入

■ 大阪府立大学の新植物工場へ
GreenPower LED 13,000本 導入

1. 経営基盤の強化

- 1) 積極的なアライアンスによる売上/利益規模の追求
- 2) 収益力強化・収益率向上
- 3) 組織の戦力化

2. MV事業の強化と新規事業の堅実拡大

- 1) 総合力強化によるCCSブランド絶対的優位性の確立
- 2) 中国など海外市場への攻勢を強めて断トツシェア奪取
- 3) 出口を見据えた新規事業展開

3. 開発力の強化と革新

- 1) マーケティング力とシームレスに製品を生み出す企画力UP
- 2) 顧客要求のQCDへ満額回答出来る技術・生産力の強化
- 3) ライバルを凌駕する先を見据えたコア技術の先行開発

21期 全社スローガン

弛まぬ**変革**と飽くなき**挑戦**

3. 参考資料 ～会社概要～

Creating Customer Satisfaction

社是 : 『お客様に愛と感謝』

基本理念: 『光を科学し、社会に貢献する』

行動指針: 『すべてはお客様のために』

会社概要

- 商号 シーシーエス株式会社
- 本社所在地 京都府京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374
- 代表者 代表執行役社長 各務 嘉郎
- 設立 1993年10月
- 資本金 462百万円
- 従業員数 205名(連結)、186名(単体)
- 発行済株式総数 普通株式 4,138,000株
A種優先株式 5,103株

- 株主数 普通株式 2,760名
A種優先株式 4名
- 連結子会社 CCS America, Inc. / CCS Asia PTE.LTD.
CCS Europe N.V.
- 拠点数 国内 7ヵ所 / 海外(連結子会社含む) 8ヶ所



本社(京都市上京区)

(2014年1月末現在)

沿革

- 1993 シーシーエス株式会社を資本金1,000万円で設立
- 1999 CCS America, Inc.(100%子会社)を設立(米国マサチューセッツ州)
- 2000 東京営業所を開設
- 2001 本社移転(現所在地)
- 2003 上海駐在員事務所を開設(中国 上海市)
- 2004 ジャスダックに上場
RDV(S)PTE LTD社を子会社化(シンガポール)
CCS Europe NV(100%子会社)を設立(ベルギー)
- 2005 ISO9001認証取得
- 2006 ISO14001認証取得
- 2007 生産拠点と物流拠点を統合し、生産センターを開設(京都市下京区)
仙台テストングループを開設(宮城県仙台市青葉区)
山口大学との共同開発で「自然光LED」照明を開発
- 2008 新研究所「光技術研究所」を開設(京都市上京区)
深セン駐在員事務所を開設(中国広東省深セン市)
名古屋営業所を開設(名古屋市中村区)
- 2009 連結子会社であるRDV(S)PTE .LTD.の商号をCCS Asia PTE.LTD.へ変更
医療機器製造業および第三種医療機器製造販売業に関する許可を取得
- 2010 CCS Asia PTE.LTD.バンコク駐在員事務所を開設(タイ・バンコク)
- 2011 CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVD.LTD.を設立(インド)
- 2012 医療用LED照明の開発・販売、医療分野へ参入
- 2013 中国CST社との合併会社設立を目的とし、合併契約を締結
台湾駐在員事務所を開設(台湾 新竹県)
- 2014 CCS America, Inc.エル・パソ テキサス テスティンググループを開設(米国テキサス州)

参考資料:LED開発の歩み

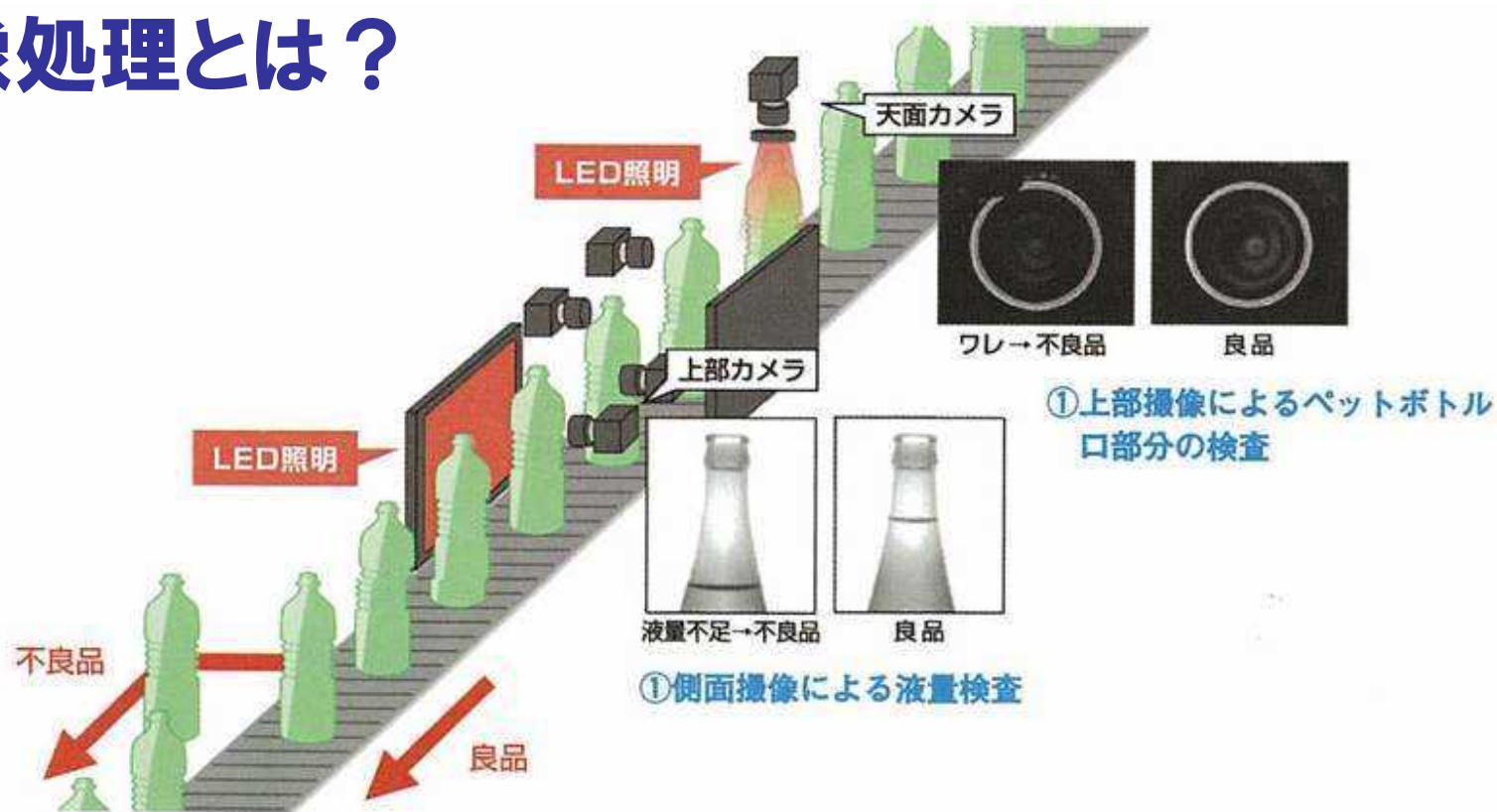
- 1962年 赤色と黄緑色が開発
- 1970年代 赤色と黄緑色が実用化
- 1993年 青色が製品化
- 1995年 純緑色の開発
光の三原色がそろそろ
- 1996年 白色が開発

- 現在 発光効率の向上
高演色性白色の開発

シーシーエスの主力事業

CCSは、画像処理用LED照明市場で国内・海外ともに
トップシェアを占める リーディングカンパニーです。

画像処理とは？

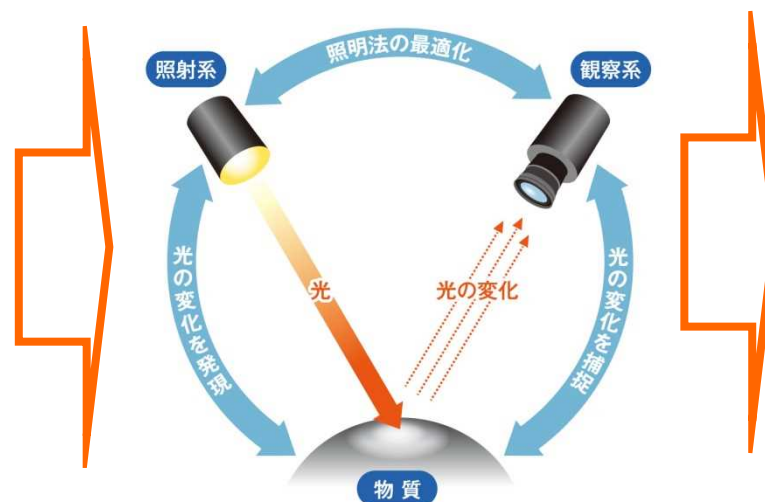


ライティングソリューションの重要性

<照明法の最適化>



流通している硬貨。
実際に検査しているものではありません。



伝搬方向を最適化
見えなかった、
500円の文字を抽出。

同じ対象物でも見え方が全く異なります。
この光の選び方が技術・ノウハウである、
「ライティングソリューション」です。

信頼の実績とサポート体制

- 50,000件以上のワーク撮像実績
- 約10,000機種のカスタム照明の設計・開発・製作
- 数百種類、数千台に及ぶ無料貸出機を準備
- エリア実験室、ラインセンサ用実験室を完備



エリア実験室



ラインセンサ用実験室

シーシーエスの事業領域

新規事業分野



商業分野

美術館・博物館用照明



工業用照明分野

マシンビジョン用照明分野

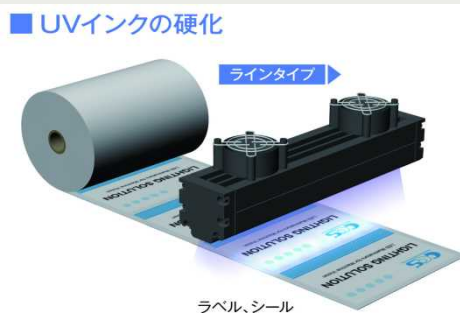
(エリア照明・ラインセンサ用照明)



新規FA分野照明

(UV照射器

顕微鏡用照明)



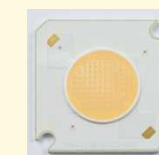
メディカル分野



アグリバイオ分野

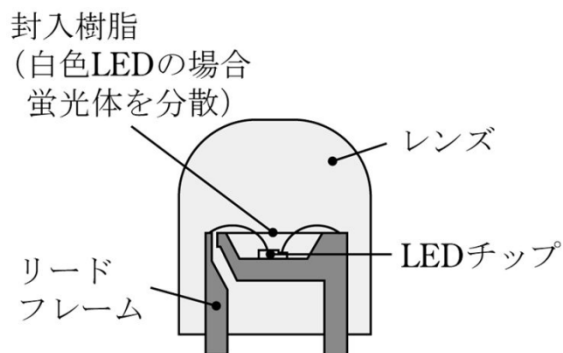


デバイス分野

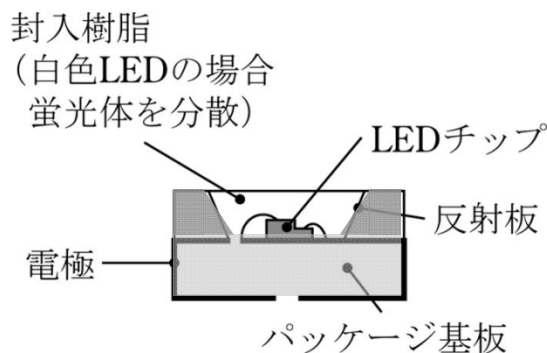


LEDの種類と構造

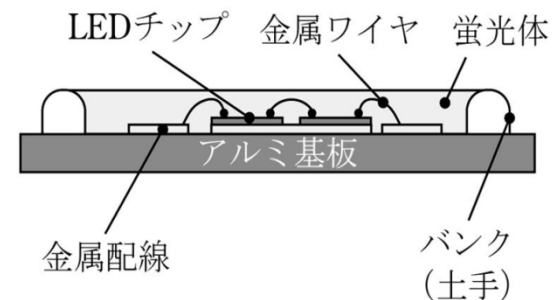
LEDは、LEDチップ、蛍光体、パッケージや封止樹脂などさまざまな部材を組み合わせ、複雑な光学現象、化学現象、構造力学現象をハンドリングしてつくりだされています。



砲弾型



表面実装(SMD)



チップオンボード(COB)

* 参照: 社会法人日本電気技術者協会 電気技術開設講座

シーシーエスは、独自の技術で設計開発を行いオリジナルLEDの開発に取り組んでいます。

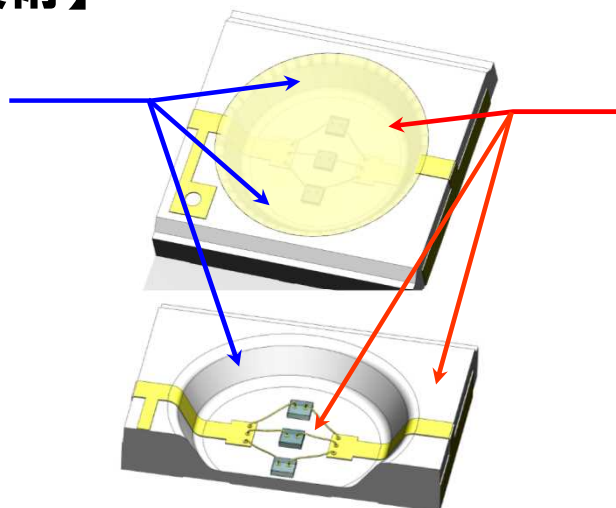
【SMDパッケージング技術】

高効率化

【蛍光体】
材料及び封止方法の最適化

【封止樹脂】
材料特性、表面形状の最適化

【リフレクタ形状最適化】
壁面高さ、角度、高反射率



長寿命化

【封止樹脂】
耐熱・耐光性向上

【ボンディング材料】
耐熱・耐光性向上、高放熱性

【パッケージ材料】
高反射率、高放熱性

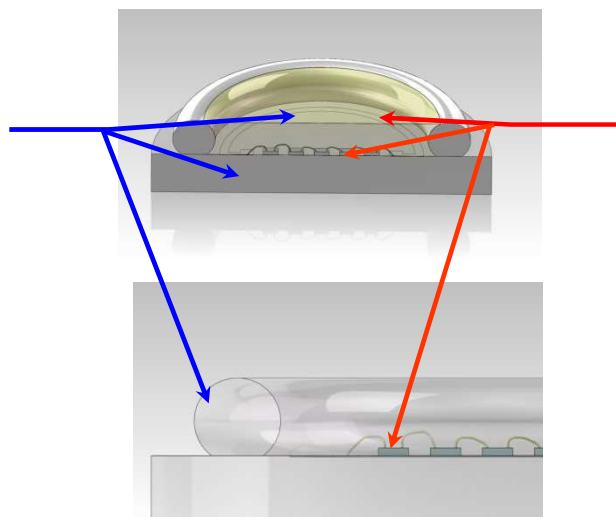
【COB実装技術】

高効率化

【蛍光体】
材料及び封止方法の最適化

【ダム材】
高反射率、成型化

【基板材料】
高反射率、高放熱



長寿命化

【封止樹脂】
耐熱・耐光性向上

【実装パターン】
狭ピッチ、高反射率

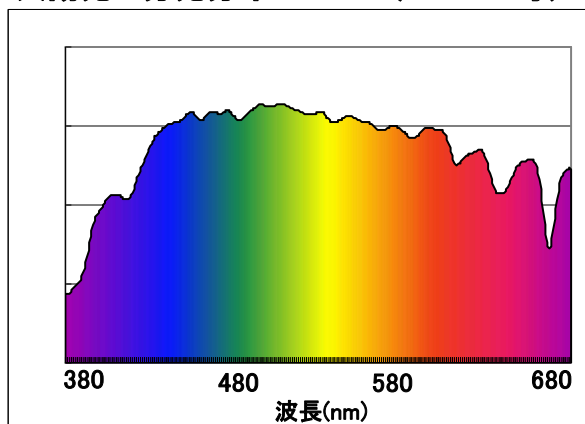
【ボンディング材料】
耐熱、耐光性向上、高放熱性

「自然光LED」とは

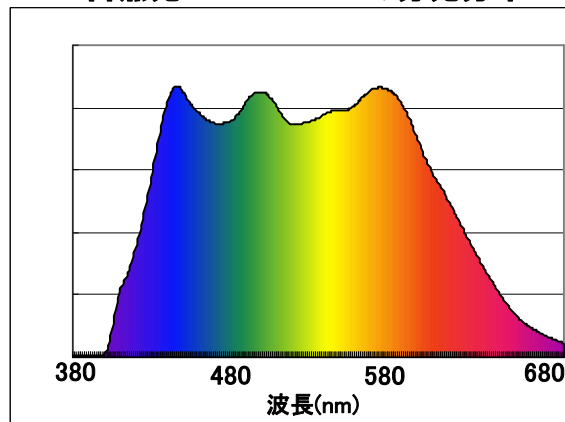


独自に開発した太陽光に近い光を再現する「自然光LED」
色の再現性を標準化・数値化した平均演色評価数*において、
業界最高クラス“Ra98”(相関色温度:5000 K)を達成

太陽光の分光分布 5200 K(AM:10時)

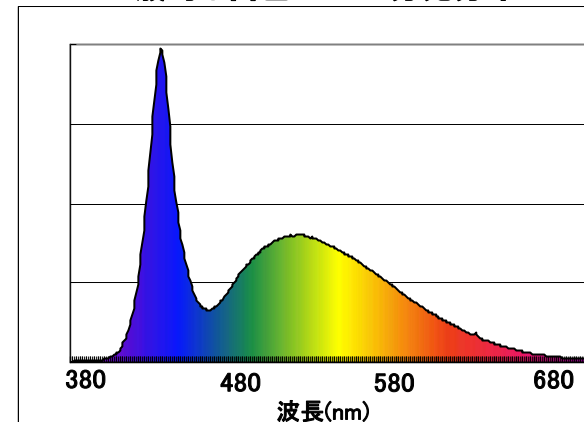


“自然光LED5000 K”の分光分布



太陽光に近い分光分布で物体の色を忠実に再現

一般的な白色LEDの分光分布



青色LEDの青が極端に強い

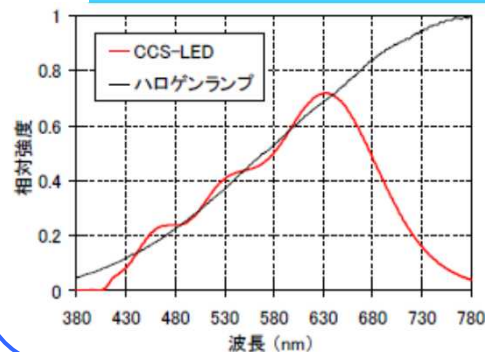


肌の色も自然に美しく魅せることができます

文化財保存修復学会 第35回大会 2013年7月

▶▶ P043 高演色性と低損傷性を兼ね備えたLED照明の開発と評価

ハロゲンランプと同等の分光分布を持つLED

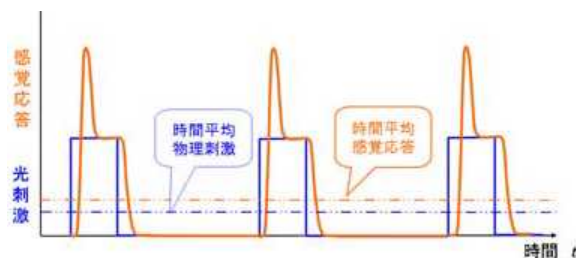


ハロゲンランプと比べて突出したピーク成分を持たず、損傷性の高い紫外線や、赤外線を含まない。

ハロゲンランプと同等の分光特性を持つLEDを開発し、高演色性と低損傷性を実験・理論的解析によって証明された。

▶▶ P044 文化財用低損傷パルス駆動LED照明

パルス駆動LED照明



Broca-Sulzer効果によって、実際の直流駆動よりも、明るく感じさせることができる。

LED照明をパルス駆動することにより、肉眼での明るさ感を確保したまま、展示物への損傷を低減できることが検証された。

「自然光LED」搭載照明の商品化に注力



顕微鏡



美術館



生鮮食品などのショーケース用照明

光源から熱を出す
生鮮食品を傷めず、店内の空調コストも抑制できます。

こんなに見え方が違います！
特に赤い野菜や果物は自然光LEDの光で色が鮮やかに見えます。もちろん、手も自然光LEDのもとでは肌の色がきれいに見えます。

自然光LED	従来の白色LED	電球灯

食品



ホテル・会場

設備投資・減価償却・研究開発費の推移



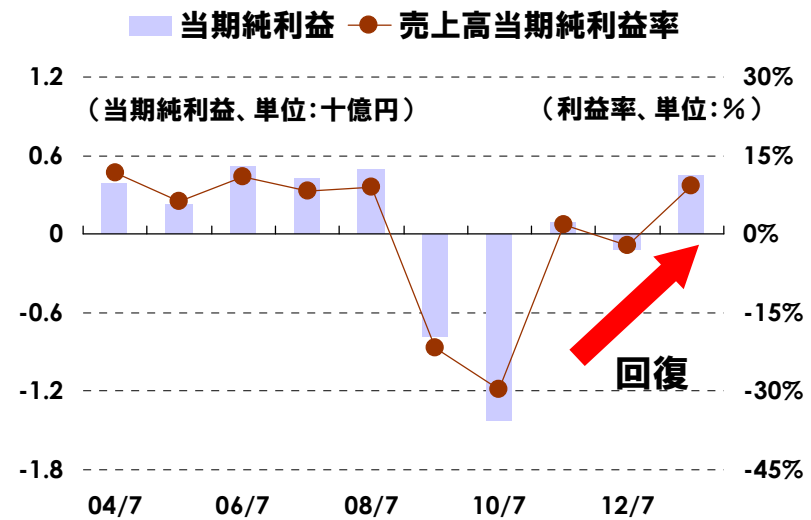
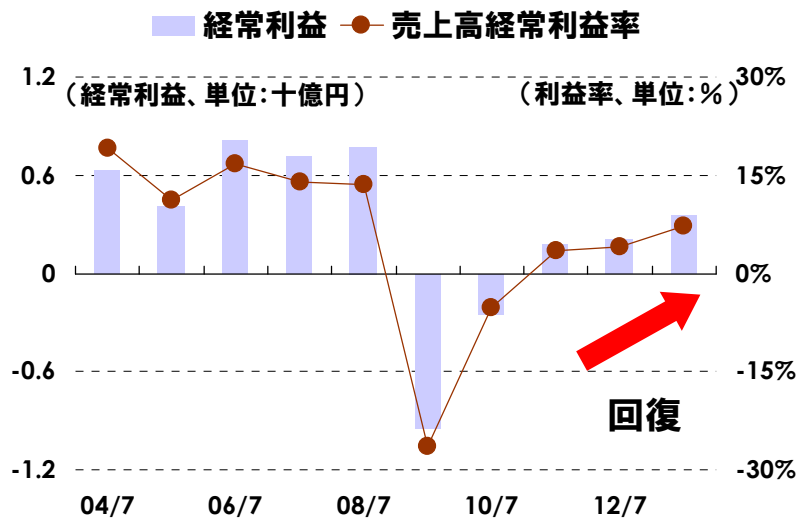
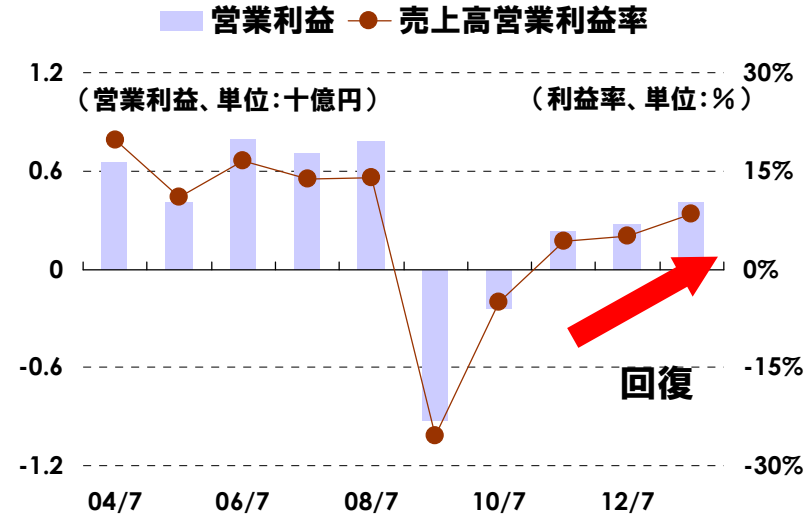
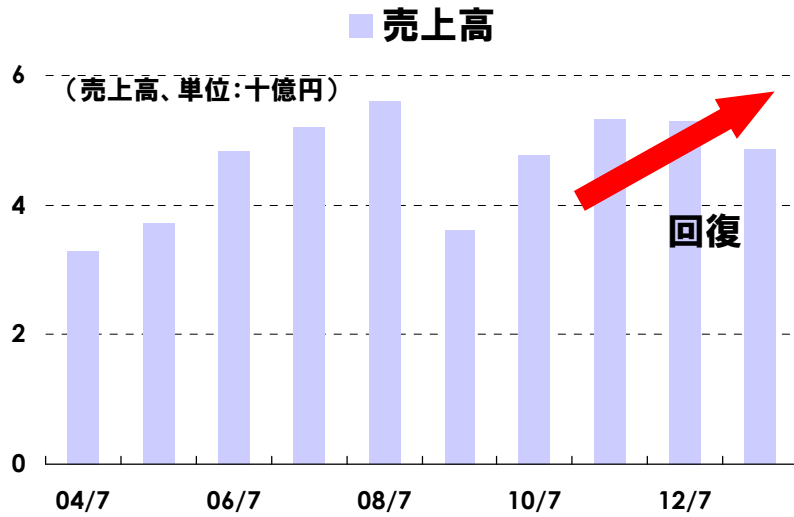
(単位:百万円)

	11/7 累計	12/7 累計	13/7 累計	14/7 3Q累計	14/7 通期計画
設備投資	80	94	128	154	379
有形固定資産	61	77	103	138	245
無形固定資産	19	17	24	16	134
減価償却	166	145	124	101	170

(単位:百万円)

	11/7 累計	12/7 累計	13/7 累計	14/7 3Q累計	14/7 通期計画
研究開発費	684	570	449	354	554
対売上比率	12.9%	10.8%	9.3%	9.2%	10.1%

業績・財務指標の推移(1)



業績・財務指標の推移(2)

